

## ○乗用馬の余生

昨今、高齢になった乗用馬が、競技馬として、あるいは乗馬クラブでの仕事を終えた後に余生を過ごせる場所の需要が高まっています。長い間乗馬として活躍した遠野産馬が引退後に繋養されている那須の養老牧場を訪ねました。



広い放牧地で過ごす遠野産馬の「ひなの」

## ○ラブ アンド ポニー



栃木県那須町にある「ラブ アンド ポニー」は、東京から車で約2時間半、鬱蒼とした木々に囲まれた広い放牧地と趣のある厩舎がある緑あふれる牧場で、20頭前後の馬が繋養されています。遠野産馬のひなの（セリ名パスラート 牝22）は今年の春にここにやってきました。オーナーの大塚温子さんのもとで長い間乗馬として活躍し、全日本馬場馬術大会

Part II・L 課目で入賞したこともあるひなのも22歳、余生をおだやかに過ごしてほしいと思っていたところに大塚さんが紹介されたのが、「ラブ アンド ポニー」でした。大塚さんは牧場の環境や代表を務める高林宏之さんの考え方に共感し、東京からも通いやすいこの牧場にひなのを預けることにしたそうです。放牧を中心に体調を見ながら運動も行う日々、ひなののはマイペースに過ごしています。

「ラブ アンド ポニー」には、もう一頭の遠野産馬トレジャープラネット（セリ名タカラボーイ III セン25）が暮らしています。トレジャープラネットは、トレジャーハントという名でJRA馬

事公苑に所属し、馬場馬術のトップライダーである北原広之氏のもとで活躍しました。

「ラブ アンド ポニー」では、ふれあい事業やポニー乗馬、馬のお世話体験などを提供しながら、今後とも養老馬の預託事業に力を入れていくそうです。

写真右：放牧中のトレジャープラネット



オーナーの大塚さんとひなの



牧場代表の高林宏之さんとひなの



2025年7月14日取材